CITY OF YOKOHAMA

資料５

横浜グリーンエクスポ
来場意欲醸成のご協力について

横浜市

令和８年10月29日

明日をひらく都市

OPEN × PIONEER

横浜グリーンエクスポ会場全体図

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

九都県市すべてが出展予定



横浜市出展（発信拠点）



神奈川県出展

「“Vibrant INOCHI” 一人ひとりの“いのちが輝く”」とした出展エリアを設置



横浜市出展（活動拠点）

自治体出展

※GREEN×EXPO協会HPより一部抜粋

No.	出展者名	出展区分		
		屋外	屋内全期間	屋内短期間
1	東京都	○		
2	埼玉県	○		○
3	千葉県	○	○	
4	さいたま市	○		
5	千葉市	○		
6	川崎市	○		
7	相模原市	○		

横浜市出展（テーマ：世界の明日を、みんなでひらく。）

つなぐ横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub



つなぐ横浜館 外観



LIFESTYLE ZONE



FUTURE ZONE

つなぐ横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field



ウェルカム・ゾーン

ウェルカムガーデン



アクション・ゾーン

みんなでつくるフィールド

活動広場

観察とあそびの森



フューチャー・ゾーン

未来フィールド



つなぐ横浜フィールド

チケットの販売促進

9月18日から来場日時・シャトルバス予約等及び全国のコンビニでの紙チケット販売開始

入場チケットの種類・価格

販売期間	券種	概要	大人（満18歳以上）	中人（満12~17歳）	小人（満4~11歳）
前売チケット 2026年3月19日~ 2027年3月18日	1日券（早割価格）	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円
前売・会期中販売チケット	特別割引券	障がい者手帳等をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円
前売・会期中販売チケット	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円
前売・会期中販売チケット	夏パス	夏の決まった期間(7/1~8/31)に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円
会期中販売チケット	1日券（通常価格）	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円
会期中販売チケット	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円





オフィシャルグッズの展開

常設オフィシャルストア12店舗、オフィシャルオンラインストア及び全国157店舗のCAINZ等で
公式ライセンス商品を展開

＜関東圏の常設オフィシャルストア一覧＞

＜東京エリア（2店舗）＞
・丸善 丸の内店
・ジュンク堂書店 吉祥寺店

＜さいたまエリア（1店舗）＞
・ジュンク堂書店 大宮店

＜千葉エリア（1店舗）＞
・丸善 津田沼店

＜横浜エリア（5店舗）＞
・横浜ラクシスフロント店
・丸善横浜みなとみらい店
・ズーラシア アクアテラス店
・そごう横浜店
・髙島屋横浜店

オンラインストア、CAINZ（全国157店舗）等でも販売



＜公式LINEスタンプ＞



＜公式ライセンス商品一例＞

来場意欲醸成の主な取組



横浜グリーンエクスポ応援　みなとみらいフェスティバル(8月24日)



【GREEN×EXPO協会】開催半年前発表会(9月15日)

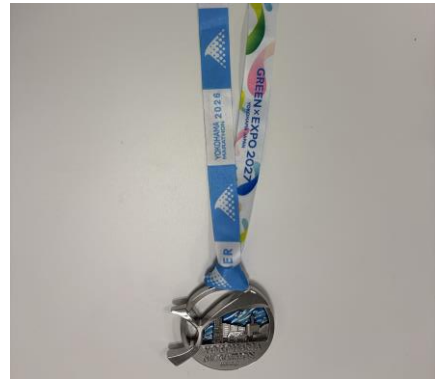


ワールドフェスタヨコハマ(10月11日)



新横浜パフォーマンス(10月17･18日)





横浜マラソン(10月25日)

ご依頼事項（機運醸成の広報プロモーション）

開幕まで半年を切り、さらなる機運醸成・来場促進が必要です。
引き続き、横浜グリーンエクスポに関するPRにご協力をお願いします。
PR素材（ポスター等）はこちらからご提供いたします。

イベントにおけるPR

（例）PRブースの出展、トゥンクトゥンクのフォトスポット等

公共施設におけるPR

（例）ポスター、サイネージの掲出、チラシ、パンフレット等の配架など



おおのキッズフェスタ（相模原）



アクティブガーデン（川崎）



埼玉の花植木大商談会



全国造園フェスティバル2026（千葉）



さいたま新都心駅



公用車ナンバープレート装着

ご依頼事項（来場促進の取組）

九都県市の自治体出展の見学を契機とした住民の皆様への来場促進の呼びかけや、
来場促進やチケット販売のための広報誌やSNS等による情報発信等へのご協力をお願いします。

各自治体の出展イメージ



埼玉県



千葉県



さいたま市



千葉市



川崎市



相模原市



横浜市広報誌（広報よこはま3・4月号）



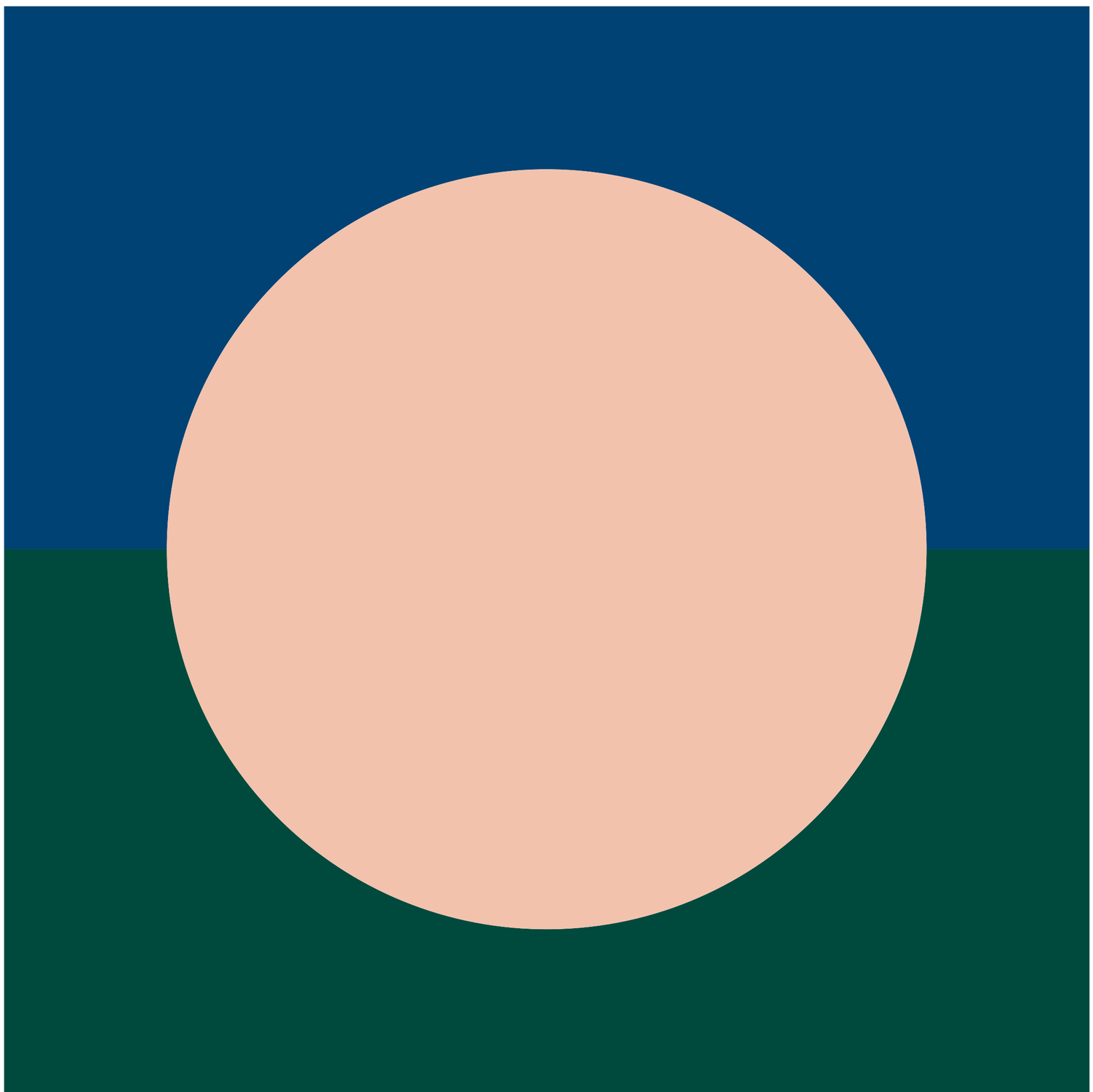
横浜市公式SNS（X）



房総国際芸術祭
Boso Triennale

2027/3/6-5/30

房総国際芸術祭 アート×ミックス2027
（市原市、木更津市、大多喜町）
Boso Triennale
(Ichihara City, Kisarazu City, Otaki Town)



空水空芸術祭
SORA MIZU KU ART FESTIVAL

2027/3/20-5/23

空・水・空芸術祭
（成田市、印西市、栄町）
SORA MIZU KU ART FESTIVAL
(Narita City, Inzai City, Sakae Town)

2027年春 千葉で2つの芸術祭を開催
Two Art Festivals in Chiba prefecture
March–May 2027.

里山里海が育む豊かな半島で土地、アート、歴史が重なる
Where land, art, and history meet on a peninsula nurtured by Satoyama and Satoumi.

川崎駅周辺都市型フェスティバル　初開催！



<コンセプト> Challenger's Fes

CULTURE

LIVE

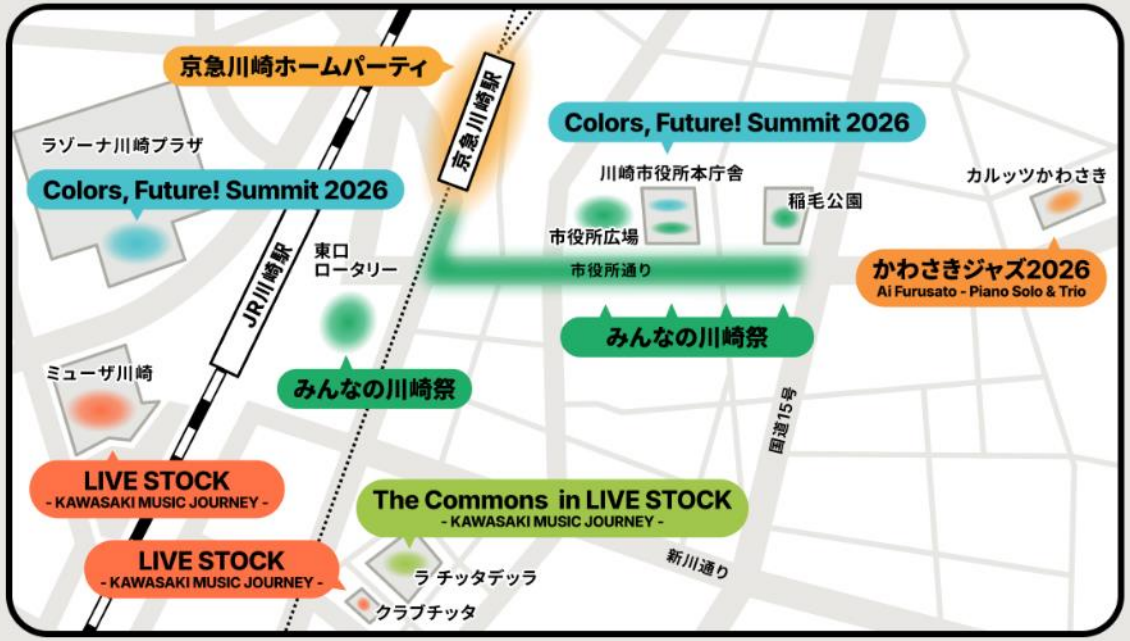
& CHALLENGE

11.1 日 CULTURE DAY

- みんなの川崎祭
- Colors, Future! Summit 2026
- 京急川崎ホームパーティ

11.3 火・祝 LIVE DAY

- LIVE STOCK - KAWASAKI MUSIC JOURNEY -
- The Commons in LIVE STOCK - KAWASAKI MUSIC JOURNEY -
- かわさきジャズ2026 Ai Furusato – Piano Solo & Trio













みんなの川崎祭

市役所通り６車線を歩行者空間にして、川崎の魅力を詰め込んだイベント



Colors,Future!Summit 2026

川崎発で挑戦的な試みをテーマにしたトークセッションイベント



京急川崎ホームパーティ

京急川崎駅のホームや電車内でジャズに耳を傾けながら飲食を楽しめる



LIVE STOCK

クラシックホールをライブ会場に変える「挑戦的な試み」の音楽ライブ



The Commons

音楽の文化に触れて、楽しめるカルチャーマーケットイベント



かわさきジャズ2026
Ai Furusato – Piano Solo & Trio

15歳の天才ピアニストの凱旋公演





Supported by RENOSY

胸を、鳴らそう。

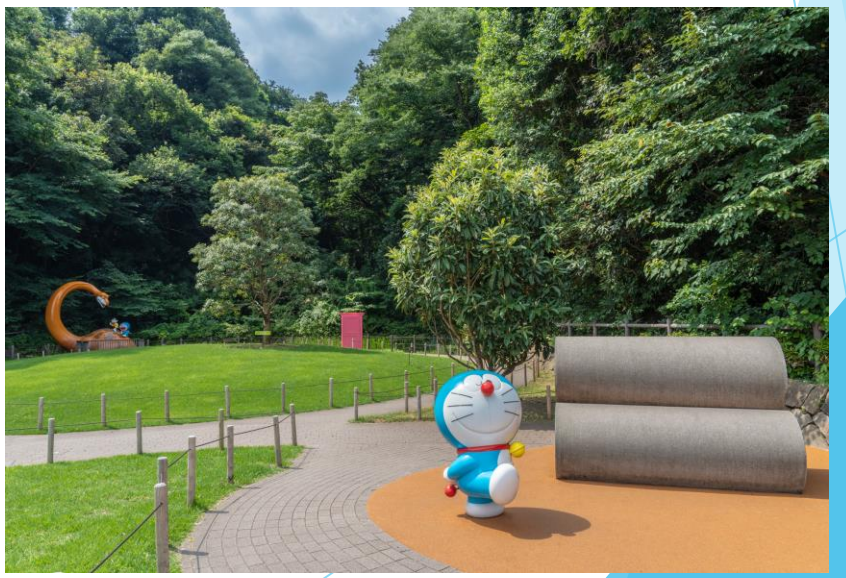
「飾らず、にぎやかで、どこか愛おしい」そこが川崎の魅力だ。
この街は、いまも発展の途中。そこには、希望とビジョンと、挑戦への熱量がある。だから、おもしろい。挑戦は、ひとりだけの戦いじゃない。お互いの熱を分け合いながら、明日へ進むこと。あなたの「やってみたい」を、街がそっと包み込み、やさしいエールを送る。
今日響きわたる拍手が、手拍子が、誰かの一歩を支える力になる。
ここは、すべての人の挑戦を称える祝祭。 KAWASAKI FESTIVAL'26

KAWASAKI-FESTIVAL.JP

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムについて

- まんが家、藤子・F・不二雄氏は長年川崎市多摩区に在住。
  子どもたちのために「ドラえもん」をはじめ、様々な「まんが」を描き続けた。
- 藤子・F・不二雄氏の功績とメッセージを広く発信する文化施設として、**平成23（2011）年9月に「川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム」開館**。
  開館以来、**総来館者数は570万人を突破**。





©Fujiko-Pro

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムの開館15周年記念事業について

- 川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムは令和8年9月3日（木）で開館15周年を迎えました。
- 15周年を記念し、ラッピングバスのデザインリニューアルや市内主要駅でのシティドレッシングを実施。

■ミュージアム直行バスリニューアル



ドラえもん号（大型車）



ドラミ号（大型車）



コロ助号（中型車）



チンプイ号（中型車）

川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアムの開館15周年記念事業について

■市内主要駅シティドレッシング

★以外は令和8年8月26日～9月30日



川崎駅デジタルサイネージ＆天井広告旗★（～令和9年１月10日まで）



登戸駅ペデストリアンデッキ上フラッグ



川崎駅壁面ポスター



川崎駅時計塔ポスター



新百合ヶ丘駅ペデストリアンデッキ上横断幕



九都県市首脳会議

National Capital Region Nine Government Summit Council

千葉開府900年記念事業

令和8（2026）年6月1日、千葉市は、まちが開かれてから900年という大きな節目を迎えました。

千葉開府とは



- 平安時代後期の1126年6月1日に、桓武天皇の子孫、常重（つねしげ）が、現在の千葉市緑区大椎（おおじ）町から千葉市中央区亥鼻（いのはな）付近に本拠を移しました。

  ⇒ **千葉のまちとしての歴史の始まり**

- 常重の息子 常胤（つねたね）は、源頼朝を助け、鎌倉幕府の成立に大きく貢献しました。

  以降400年にわたり、千葉氏は下総の地を治め、常胤の息子たちも全国各地に勢力を拡大し、地域の状況に応じた領地経営を通じて、人材や文化を育みました。

記念事業の基本理念・意義

基本理念：「千葉一族からの学びを活かし、未来へ向けたひとづくり、文化づくり」

歴史的節目を、市民をはじめとする多様な主体と分かちあい、より豊かな未来につなげていく契機とします。

- 記念期間：令和8（2026）年4月1日～令和9（2027）年3月31日

900th CHIBA CITY

千葉開府900年

千の葉に　時を刻んで　900年

主な千葉開府900年記念事業

シンボル事業

- 記念式典[亥鼻公園](6月1日(月))
- 記念まつり[千葉JPFドーム(千葉公園)](6月6日(土))
- 記念パレード[千葉駅前大通り](11月21日(土))
- 記念モニュメント設置[千葉駅周辺](2027年3月完成予定)


※記念パレードイメージ

ひとづくり事業

- 高校生アントレプレナーシップ教育プログラム
  (2025年11月～2026年9月)
- 起業家海外展開実践研修
  (2025年11月～2027年3月予定)

文化・スポーツ事業

- 千葉市美術館特別展(9月16日(水)～11月23日(祝))
- 記念サイクリング(10月24日(土))
- 記念ウォーキング(2027年2月6日(土))

歴史関連事業

- 千葉市立郷土博物館リニューアルオープン(2025年11月8日)
- 千葉市立郷土博物館特別展(1～3月、7～9月、10～12月)
- 千葉氏サミット(8月15日(土))※千葉豪雨で中止
- 千葉氏子どもサミット(11月)


千葉市立郷土博物館の展示

千葉開府900年記念パレード



◆ 日時：令和8年11月21日(土)14:30～16:00
◆ 会場：千葉駅前大通り
◆ 内容：千葉市の過去・現在・未来をテーマに実施

【過去】
- 千葉一族を模した騎馬武者行列
  （**重要無形民俗文化財「相馬野馬追」騎馬隊30頭**を招へい）

【現在】
- 千葉市を代表するプロスポーツチーム
  （千葉ロッテマリーンズ、ジェフユナイテッド千葉、アルティーリ千葉）

【未来】
- 将来を担う若い世代　（中高生のマーチング）
- 記念アンバサダー　飯豊まりえさん

【その他】
- 千葉豪雨で中止になった千葉の親子三代夏祭りの一部内容を実施
- 千葉市中心市街地イルミネーション点灯式と連携

全国の伝統的工芸品が一堂に！

神奈川県内および全国の伝統的工芸品の展示・販売のほか、伝統工芸士による実演や体験プログラムなど、様々なイベントを開催します。

KOUGEI EXPO
in KANAGAWA
2026.11.7sat.-9mon.

第43回伝統的工芸品月間国民会議全国大会

つくる人に、物語がある。つかう人に、物語が生まれる。







会場：パシフィコ横浜（横浜市西区みなとみらい１丁目 1-1） **入場無料**

主催：経済産業省、 伝統的工芸品月間推進会議、 一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会、日本伝統工芸士会、
神奈川県伝統的工芸品月間推進協議会

問い合わせ：神奈川県伝統的工芸品月間推進協議会事務局（神奈川県産業労働局中小企業部中小企業支援課内） TEL：045-285-0697

ゴールドプラン
協賛： Kogei Japonica
シルバープラン
東武トップツアーズ
Ginza Hospital 銀座医院
横浜銀行
BAY QUARTER YOKOHAMA
TOYUGIKEN
みなとみらい線 Minatomirai Line

神奈川ゾーン



匠の技ライブギャラリー

職人が鎌倉彫・箱根寄木細工・小田原漆器の作品を生み出す瞬間を間近で見られるライブギャラリーを開催します。



©2015 EXNOA LLC/NITRO PLUS

コラボギャラリー

KOUGEI ×「刀剣乱舞ONLINE」

人気ゲーム「刀剣乱舞ONLINE」と県の伝統工芸品が初コラボ！職人の技を尽くしたコラボ作品を展示・販売します。神奈川の伝統工芸と「刀剣乱舞ONLINE」が織りなす新たな魅力をぜひその目でお確かめください。

匠のひびきステージ

11/7（土） 13時～14時 堀田真由と楽しむ！

KOUGEI わくわくトーク&クイズ

役作りで挑んだ職人体験や、日常で親しんでいる工芸品とのエピソードなど、ここでしか聞けない貴重なトークをお届けします。後半は来場者も参加できるクイズ大会を開催！



俳優　堀田 真由さん

14時30分～15時

高校生花いけパフォーマンス

季節の花を伝統的工芸品の花器やつぼに生けるライブパフォーマンスを披露します。

11/8（日） 13時～14時 磯村勇斗と見つける！

KOUGEIのある暮らし スペシャルトーク

県の工芸品に触れながら、現代の生活の中で手業（てわざ）の逸品を楽しむ魅力をお伝えします。



俳優　磯村 勇斗さん

選りすぐり伝統的工芸品市 かながわ郷土工芸品市

伝統的工芸品・郷土工芸品の展示・販売

食器やアクセサリーなど県内各地で育まれた多彩な作品を展示・販売します。

つくる喜び 工芸体験

職人と共に鎌倉彫・箱根寄木細工・小田原漆器などの工芸品づくりに挑戦できます。

※体験は有料です



箱根寄木細工の工芸体験

かながわ酒肴（しゅこう）バー

バーカウンターにて、県内の地酒を伝統的工芸品の器で試飲（有料）できます。

※20歳未満の飲酒は法律で禁止されています

詳しくはこちら

工芸スタンプラリーを開催 会場内に設置された5箇所のスポットを回った方にはノベルティ（数量限定）をプレゼント！

全国ゾーン

＼全国の伝統的工芸品を体感しよう！／

TEWAZA LIVE

大人から子どもまで楽しめるワークショップや製作実演など、あらゆる角度から伝統的工芸品の魅力をご紹介。作り手の想いや手仕事の素晴らしさをぜひご体感ください。



CRAFT MARKET

全国から集まった選りすぐりの逸品をお買い求めいただけるマーケットで、作り手との対話を楽しみながらお気に入りの工芸品を見つけましょう。



伝統的工芸品公募作品展

経済産業大臣指定伝統的工芸品の製造技術を保持する職人の卓越したわざと美意識から生まれた作品の数々をご堪能ください。

EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

トゥンクトゥンク

2027年国際園芸博覧会

2027.3.19–9.26 横浜・上瀬谷

©Expo 2027

火星衛星探査計画(MMX)

- 世界初、火星圏サンプルリターンミッション
- 相模原市にあるJAXA宇宙科学研究所が開発、運用を担う

＜ミッション　スケジュール＞

令和8年度	打ち上げ(10月20日)
令和9年度	火星圏　到達
	～探査・サンプル採取～
令和12年度	火星圏　離脱
令和13年度	地球帰還

2つの火星衛星(フォボスとダイモス)の
起源や火星圏の進化の歴史を解明することを
目指しています



©JAXA

相模原市では
「JAXA応援団」を結成



JAXAの取組を市だけでなく、
企業・団体、個人など、
みんなでJAXAを応援していこう！
という取り組みです。



2026年9月9日

九都県市首脳会議
座長
相模原市長　本村　賢太郎　様

九都県市首脳会議に対する要請書

日本労働組合総連合会

東京都連合会　会長　斉藤　千秋

神奈川県連合会　会長　林　克己

埼玉県連合会　会長　今井　信博

千葉県連合会　会長　永富　博之

日頃より、日本労働組合総連合会（連合）ならびに私ども首都圏地方連合会の諸活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

私たちは、すべての働くものに共通の課題である低賃金や不安定雇用、長時間労働などの問題を解消するとともに、最低賃金の引き上げや雇用のマッチング機能強化、若年者・女性・高齢者・障がい者などが働きやすい労働環境の整備、雇用対策の強化などを通じて、ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を実現させていかなければならないと考えています。

2026 春季生活闘争は、3 年連続での 5%台の賃上げを勝ち取り、連合が目指す「賃金は上がるもの」という賃上げノルムが定着しつつあります。しかし、日本全体が人口減少により縮小の流れの中にいる現在、生産年齢人口の減少、切実な労働力不足、格差の拡大と貧困の固定化など、構造課題は多く、それらを政策によって解決していかなければなりません。

また、今年の夏から「酷暑日」が生まれるなど、止まらない気温上昇をはじめ、大雨や突風による被害も、過去に比べ甚大になってきています。災害に対しての備えといういみでも生活インフラの老朽化対策を含む、自然災害に対しての備えは欠かすことはできません。

首都圏は、全国の人口の約３割を擁し、我が国の政治、経済、文化の中心をなすとともに、大都市圏として一つの地域社会を形成しており、九都県市首脳会議は、その舵取り役として政治・経済・社会などの発展に大きな役割を果たしている大変重要な会議です。今後も、首都圏における広域的な諸課題の解決に向けて、協調した取り組みを進めるとともに、まちづくりなどにおいて共同・連携した対応をはかるなど、協調した広域行政を推進していくことが必要と考えます。

貴会議におかれましては、都民・県民・市民が内在的に抱える将来不安の払拭に向け、経済回復の根幹である雇用対策に積極的に取り組まれるとともに、医療・介護・教育・防災など生活に直結する様々な分野における諸課題への対応や安全で安心してくらすことができる社会構築に向けて、最大限のリーダーシップを発揮されることを強く望みます。

私たち首都圏にある地方連合会は、第 90 回九都県市首脳会議の開催にあたり生活者の視点に立った喫緊の課題に絞り、以下のとおり要請を行いますので、課題に対する共通認識をはかり、協調・連携のもと課題解決に向けた取り組みを進められますようお願い申し上げます。

＜雇用・労働政策＞

１．2026 年７月からの障がい者雇用率引き上げに伴い、都・県・市は率先して障がい者の雇用を拡大し、法定雇用率以上を目標として取り組むこと。あわせて、直接受け入れることとなる職場の同僚や責任者が、障がい特性などを理解することができる機会について、研修等の情報を積極的に発信して理解の促進を図ること。加えて手話に関する施策の推進に関する法律の施行を受けて、職場における環境の整備対象に「手話」が含まれることについて理解促進を図るとともに、整備を進めるとともに、能力や適性を活かし、企業・社会で活躍することができるという認識を共有し、質の高い雇用を実現するために支援体制・処遇改善を進めること。

２．地域における産業・雇用安定のため、国・ハローワークおよび区市町村と連携し、雇用創出事業、求人の開拓、職業訓練、相談マッチング機能を強化すること。特に、非正規雇用で働く方や就職氷河期世代を含む中高年層、就労困難者、ＤＶなどにより困窮する女性や就職活動中の学生に対する公的相談・支援体制、就労支援・職業訓練などを強化すること。

支援体制の強化を行った結果、正規雇用への転換を希望する労働者の正規雇用化や所得向上について、実績を公表し、目標達成していない場合は課題を抽出するとともに更なる対策を講じること。

３．公契約条例は、公契約により対象事業に従事する労働者への労働報酬下限額の支払いを担保し、労働者のディーセントワーク、中小企業等の受注事業者への発注額の適正化と適正利潤および人材の確保、住民に対する公共サービスの安全・品質の確保につながる。

具体的な条例制定にあたっては、サービスを含む対象職種の拡大、複数年契約におけるインフレスライド制度の実施など、条例および関連施策の拡充を図ること。

すでに公契約条例を制定している自治体における取り組み状況の把握、賃金実態調査の継続、データの蓄積等を進め、条例制定の必要性を検証し、労働条項型公契約条例の制定に向け取り組みを推進すること。

また自治体の工事や業務委託の入札・契約に関わる条例や要綱などに、労働基準法等の労働法制や社会保障法規に違反した企業を、発注対象から除外する項目を設けるとともに、発注者の責務も明確にすること。

４．地域で働き暮らすすべての外国人に対し、労働関係法令をはじめ在留資格ごとの就労制限や生活に関する情報について、Web サイトにわかりやすい動画を掲載するなどにより周知の強化を図るとともに母国語による相談・支援体制を整備・拡充すること。

あわせて、「日本語教育の推進に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための基本的な

方針」を踏まえ、働くうえで必要な日本語のみならず、生活するうえで必要な日本語についても、外国人労働者に学習の場を提供すること。

また、人手不足の状況や賃金水準の動向について統一した調査を行うとともに、労働災害の発生や労働相談の内容など、外国人労働者の就労状況に関する情報の収集と公表・共有を進めること。

さらに、法改正により、2027 年 4 月 1 日「育成就労制度」の施行に向けて混乱が生じないよう、技能実習制度の経過措置などについて、技能実習生や実習実施者、監理団体に対して、丁寧な説明、および相談対応を行うこと。

5．連合は 2026 春季生活闘争において 3 年連続での 5%超の賃上げを求め、賃金も物価も安定的に上昇することが容認される社会構造の転換によって、日本の実質賃金を１％上昇軌道に乗せ、これからの「賃上げノルム」としていくことを目指している。

九都県市においても、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正な分配の実現に向けて、「働き方」も含めた取引の適正化の推進に取り組むとともに、中小企業などに対して各種支援策の周知と利用拡大により実効性を担保し、特に春闘交渉前のタイミングで、都県全域での賃上げに向けた機運醸成に積極的に取り組むこと。

＜生活・福祉政策＞

6．安定した地域医療や介護体制の確保のため、医療従事者ならびに介護従事者の人材育成・確保に努めること。

また、災害時でも地域住民に対する医療・介護サービスを提供できるよう、九都県市で連携し、広域的な医療と介護の連携体制を確立すること。

さらに、診療報酬と介護報酬が物価上昇などの社会実態を反映したものとなるよう、臨時改訂を含め国への働きかけを強めること。

7．ヤングケアラーを含むすべての地域住民の複雑化・複合化する支援ニーズに対応する包括的相談・支援体制の整備に取り組むこと。

また、ヤングケアラーについては、継続的に実態調査を行い、対象人数、対象としている年齢層、就学・就職・経済面など自立に関する新たな課題の把握に努めること。

相談・支援については、重層的支援体制整備事業など、既存の制度活用だけにとどまらず、多機関連携を模索および強化して対応すること。

また、都県は、対応する区市町村に対して必要な支援を行うこと。

＜防災政策＞

８．地域防災計画の見直しおよび防災訓練等の実施にあたっては、内閣府「災害対応力を強化する女性の視点～男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン～」等を踏まえ、その意思決定の場に女性をはじめ障がい当事者や性的マイノリティの支援団体、居住外国人等、被災時に弱者となりやすい立場の当事者やその支援者を加え、多様な立場からの意見を取り入れ、きめ細かなケアが出来るようにすること。

加えて、実際に発災した際には、避難所にも地域住民以外の多くの避難者が集まることが容易に想定される。首都大都市圏においては、地域防災計画には想定されない、地域外避難者への対応等について、普段から地域内での理解を広げておく取り組みもあわせて進めること。

９．非常災害に伴う大量の災害廃棄物を適切に処理できるよう、都県としての広域対応を各自治体等と連携して行うこと。また、自治体のみでは対応しきれないことも想定し、民間企業やボランティア団体等との連携はもとより、より実効性を高めるための教育訓練の強化、資材や廃棄物収集車の確保とそれらに伴う予算措置を行うこと。

＜インフラ対策＞

10．自治体が管理する道路、橋梁、トンネル等の交通インフラおよび上下水道、工業用水等の耐震化、老朽化対策を迅速かつ着実に進めるため、ＡＩやドローンなどの技術活用とともに、国に対し補助を要請することも合わせ十分な予算確保を行うこと。

また、更新や耐震化の計画の進捗と今後の見通しを示し、計画の方向性を明らかにすること。さらに、保守を担う人材については、その社会的重要性について広く理解を広げ、産官学の連携により工業高校等とのつながりも深めながら、人材の育成・確保を行うこと。

＜防犯・消費者被害対策＞

11．若年者や高齢者の悪徳商法や闇バイトなどによる被害を防止するため、充分な注意喚起を行うとともに、国・都県・区市町村が連携し実効性のある施策を速やかに実施すること。

12．労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等に関する法律等の改正を踏まえ、本年 10 月から義務となる「雇用管理上の措置」等について積極的に周知するとともに、カスタマーハラスメントの抑止・撲滅に向けた対策を推進すること。

地方公共団体においてカスタマーハラスメントに関わる実態調査等を継続的に行うととも

に、理解を深めるための啓発を引き続き実施すること。

また、消費者庁「第５期消費者基本計画」を踏まえ、消費者と事業者との適切なコミュニケーションなど、倫理的な消費者行動を促進するための施策を一層推進すること。

＜環境・エネルギー政策＞

13. 2050 年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現のため、再生可能エネルギー利用の積極推進、次世代エネルギー開発への補助や電力需要の平準化ならびに省エネ対策の推進、緑地や森林の保全・整備、代替フロン類の回収・破壊などの包括的対策に取り組むこと。

ただし、カーボンニュートラルの推進にあたっては、産業構造の転換に伴う失業や労働条件の著しい低下を招かないよう「公正な移行」に取り組むこと。

＜教育・子育て・人権政策＞

14. 子どもたちが安心して学び学校生活を送ることができる環境を構築し、教員が一人ひとりの子どもと向き合い、子どもたちの学びを十分に保障するため、学校における働き方改革・ＤＸを促進すること。

教職員の過度な超過勤務の縮減にむけ、国に対して、義務標準法による基礎定数・加配定数の改善を求めるとともに、教員配置基準を改正し教員の加配を行うこと。あわせて、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー、ＩＣＴの専門スタッフなどの人的支援をさらに推進すること。教員の欠員を確実に補充できる人材確保に向けた具体的な施策を早急に行うこと。

また、メンタルヘルス対策および安全配慮義務を果たせるよう、教職員の人数にかかわらず全校における産業医の選定と安全衛生委員会の設置を加速化し、休職者を減らすこと。

15. 物価高騰に伴い、後期中等教育・高等教育における家庭の負担軽減のため、授業料以外の学用品や通学にかかる費用に対しての補助制度を創設すること。各種貸付事業にかかる金額を増額するとともに、無利子化など負担の軽減を図ること。また、奨学給付金事業の対象要件について、所得制限の上限を引き上げること。

さらに、国公立の学校・大学において入学金は無償ではないため、入学を辞退するケースがある。入学金の貸付ルールの確立、および返済が厳しい場合は、卒業した場合の返済免除ルールを導入すること。また、入学金については、入学金支払い時に貸付ができるようにすること。

16. 放課後児童クラブおよび居場所事業について、希望するすべての児童が入所できるように拡充をはかるとともに、運営時間の拡大、食事提供などニーズに応じた良質なサービスの拡充を推進すること。

特に、保護者の就労などで登校前に子どもが一人になりがちな家庭に対して、小学校や学童施設等を活用して始業前の時間帯に安全・安心な居場所を提供すること。

あわせて、保育の質と安全の確保のため、十分なスペースの確保とともに、支援員の人材確保・処遇改善策を構築すること。

17. 子どもの人権を守り、児童虐待の予防と対応策を強化するために、児童福祉司、児童心理司、相談員を増員し、児童虐待の予防的な取り組みや介入の徹底など児童相談所の機能を強化すること。

18. 外国につながる子ども達が増加している。今後の日本を形成する存在であることを前提に、日本における生活の基礎を身に付け、その能力を伸ばす未来を拓くことができるよう、日本語教育環境を整備することは重要である。日本語指導が必要な児童生徒の受け入れに際して、タブレット等の翻訳機の普及、日本語指導員の増員配置、学習等支援員の増員配置などを通じ、学校に過度の負担にならないようにしながら、学校における受入れ体制の充実をはかること。

＜ジェンダー平等・多様性推進政策＞

19. ジェンダー平等社会の実現に向け、率先垂範となるよう、2026 年 3 月に閣議決定した第 6 次男女共同参画基本計画の内容を踏まえ、第 5 次計画が未達となった要因を検証した上で、各自治体の男女共同参画推進プラン等を着実に実行し、進捗状況について公表・報告すること。

また、様々な統計情報について、SOGI に配慮した上で、ジェンダーによる差異や不平等状況の把握のためのジェンダー統計として活用できるよう必要な修正を行うこと。

20. 多様な家族のあり方やライフスタイルを認め合う社会の実現に向けて、2024 年 10 月の国連・女性差別撤廃委員会による 4 度目の勧告もふまえ、選択的夫婦別氏制度の早期導入を国に働きかけること。

また、すべての希望する人が権利行使できるようパートナーシップ・ファミリーシップ制度の導入をすすめ、都市間連携・都県間連携に向け検討すること。

21. あらゆるハラスメントを排し、すべての人がその能力において希望する働き方と働き続けることを選択することが可能となる社会の実現に向けた施策を展開すること。

あわせて、就労の継続を希望するすべての人が仕事と育児や介護等の両立を実現するために、企業における両立支援制度等の充実、働き方の見直しを含めたワーク・ライフ・バランスの取り組みの促進・支援など、施策の拡充をはかること。

また、これらの根底に残存し、直接・間接差別の要因となる社会制度・慣行（アンコンシャス・バイアスを含む）の見直しを推進すること。

以　上